

H. P. R e p o r t

第24号

発行責任者 稲崎義明

インターネットの落とし穴 (3)

前回の続き金銭トラブルについてですが、いろいろなサイトでトラブルが発生しています。そのいくつかを紹介すると、オークション、インターネットショッピングでのトラブルがあります。この場合、オークションやショッピングモールを管理している会社は利用者に対して掲載する場を提供しているだけで、実際の取引に関与していることが無いため取引は購入者と販売者の一対一の関係となります。そのため、ホームページや購入代金の納入先から販売者の身元がわからないようにした場合、簡単に信じてしまうと特に問題が多く発生します。代替問題となるのが代金先払いで、代金を払い込んだのに品物が送られてこなかった。送られてきたものが希望するものと別なものだったということがあります。このごろ時々新聞にも事件としてのつたりしています。ではどう対処すればよいのかですが、まずは相手の素性を確認することです。相手が個人の場合は別として会社の場合はあらかじめ日本通販販売協会の会員であるか、業者の身元が電話番号などで確認できるかをまずします。相手がどこの誰かを確認しないで代金を送るといことはお金をどぶに捨てるようなもので、うまく物が送られて来ればめっけものというものです。また、インターネットショッピングを利用する際も信用のできるショッピングモールを利用し、モールで代金の取りまとめなどを行っているところを利用するほうが安全です。また、まず代金を送るのではなく、「料金後払い」や「代金引換」などの方法が選べるのであればその方法を選択します。しかし、インターネットでのもののやり取りは個人が中心となっていますから、その場合は実際に代金を送る前にメールの交換などを行って相手を十分確認した上で送るよう努める必要があります。インターネットはいろいろな人がホームページを解説することができ、そのホームページ上で売りますと書けば物を販売することが簡単にできてしまいます。どこの誰かがわからなければ代金を払わないといったことが必要ですし、もしトラブルが発生した場合にはメールの写しや送金の控えなどを用意して警察に被害届を出すか、ショッピングモールの場合にはその管理者に相談するなどの方法があります。

つぎに送金の方法に関連したトラブルで、代金を直接送った場合は送った代金だけの被害となりますが、クレジットカードを利用した場合には、そのカード番号などがもれてしまうためよくトラブルになります。送金でのトラブルを避けるためには、カードでの決済を極力避け、モールがコンビニの代行を利用した決済を行っているところやプリペイドカード（コンビニなどで購入したカードでそのカードに記載された番号で決済のできる）を利用できるところを利用する方法があります。また、クレジットカード会社の運営しているモールを利用してもよいかもしれませんが、その他にホームページからデータをダウンロードする際に特別なプログラムのダウンロードを促すところもあり、ダウンロードされたプログラムがダイヤルQ2や国際電話経由で接続され、その料金が後から請求されてしまうこともあります。このような場合もそうですが、不用意に画面上の確認ボックスの「OK」や「YES」などをクリックすることは避けるべきです。インターネットの場合は国内ばかりでなく世界とつながっているわけですから、海外とのクレジットカードによる送金には特に注意する必要があります。インターネットはなかなか相手が見えないものですから、安易な現金の授受は避けるべきで、行う場合でもそのリスクを十分理解したうえで行う必要があります。特に子供が自由に使える場合は十分注意が必要です。(次回へ続く)

(情報誌トピックス)

○日経エレクトロニクス 4月23日号

特集 自分のDRAMは自分で選ぶ

→パソコン市場の成長率が急速に鈍化したことによりこれまでパソコンのメモリを使うしかなかったものが他の電気製品(TV、サーバ、携帯など)がそれぞれにあったRAMを選べるようになる。メーカーもパソコン用だけからいろいろな機種に対応した多様化に対応し始めている。

解説 ケータイ携帯とBluetooth日欧が激突

→ドイツの展示会「CeBIT2001」で今後活性化が予想されるモバイルインターネット市場対応の携帯電話とようやく地付きに移りつつあるBluetoothに注目が集中した。

○日経パソコン 4月30日号

特集 実務に役立つ活用テクニック Excel、Wordの「常識」

→WordとExcelで思い通りに書類を効率よく作るためのテクニックの紹介。Excelでの入力方法からマクロの使い方、グラフ、印刷までと、Wordでの体裁のとり方から差込印刷間ごとBookshelfの使い方も紹介。

特集 10大プロバイダを再点検

→インターネットの常時接続が一般化した現在プロバイダ選びを再点検してみる。チェックポイントは「サービスエリア」、「回線」、「料金」、「サービス」。多様化しているプロ倍田サービスをよく理解し自分に最適なところを選ぶ。

○日経バイト 5月号

特集 トラブルに強いTCP/IPネットワーク構築法

→本格的にTCP/IPネットワークに移行していなかったOSの時代にはデフォルト設定でも何とかつなぐことはできたが、Win2000以降これからは十分な知識を元に設定することが必要となる。正常に動いているようでも実際は問題がある場合もある。無線ブロードバンド・ルータの落とし穴とハブ、ブリッジ、ルータの仕組みと勘所を十分に理解する。

特集 OfficeXPの“使い心地”

→夏に出荷となる予定のOfficeXP。新機能の追加で無くユーザの使用感の向上に力点を置いて作られた新版Office。実際の使い心地はどう改善されたか。

○日経ネットビジネス 4月25日号

特集 速い！熱い！急加速するアジア

→韓国では既に各家庭にブロードバンドが利用できる環境が出来上がっている。シンガポールや香港では初めから国境を超えた取引が前提でネットビジネスが展開されている。日本はアジア各国から既に学ばなければならない状況となっている。

BtoB もう“下請け”とは呼ばせない！

→中小企業がインターネットを使った企業間取引で得意分野での売り上げを中心としてこれまでの下請け体質から脱却し始めている。

- N+I MAGAZINE 5月号-INTEROPに替えて今月から新創刊
特集 これが21世紀型ブロードバンドシステムだ！
→ブロードバンドネットワークがADSLを始め身近になってきている。
高速常時接続は魅力的だが実際はそれに応じたサービスの提供が必要。
ブロードバンドの技術とメリットを再確認し、それに対応したサービス
とは何か。
- 特集 IPv6 徹底理解
→インターネットの新しいプロトコルIPv6 (Internet Protocol
version6)で何が変わるか。ほぼ無限のIPアドレスをサポートすることに
よって世界中の機器がネットワークで直接つながる。
- ASCII 5月号
特集 快 ワイヤレス 無線LANとBluetooth
→実用段階に入った無線LANとBluetooth。これからのネット
ワーク接続は無線になる。その実態とこれからの無線ネットワーク、導
入実践ガイドの特集。
- 特集 新Office XP
→Office XPは変わった。個人ユーザ向け機能の充実。新機能で
作業効率が上がる。
- PC STYLE 21 5月号
特集 ノートPC100機種王座決定戦
特集 売れ筋周辺機器購入カタログCD-R/RW完全攻略ガイド72機種
- アスキー・PC 6月号
特集 デジタルカメラで「これできますか？」
→普通のカメラとデジカメの違い。使用目的、印刷にあわせた画質の選び
方。パソコンで修正いらずの撮影方法。などなどのデジカメでの撮影方
法の技の特集。
- レポート 使ってわかった！常時接続の天国と地獄
→つながっぱなしのインターネットはいいことばかりのような気がするが
世の中なかなかそうはいかない。なかなか接続作業が終わらなかつた
り、思ったような速度が出なかつたり。最も注意しなければならないの
はセキュリティ。プロバイダ任せでなく自己防衛も必要。
- DOS/V magazine 5月15日号
特集 システム加速最強テクニック
→チューニングによりパソコンは速くなる。メモリをオーバードライブ
し、使っていないインターフェースの検索を無効にするだけでも違う。
- 特集 100Mbpsブロードバンドがやってくる
→ブロードバンドのADSL、CATVが身近になり、次は光ファイバー
が家までやってくる。そうなれば100Mbpsの通信も可能。光ファ
イバーを含めた現状のブロードバンドの特集。
- 特集 応用自在USB 2.0 & IEEE 1394
→共にシリアルインターフェースであるUSBとIEEE 1394。その
高速の原理と商品ガイド。